



# 芙蓉ミオ・ファミリア だより

～いつまでも素敵な笑顔でいて欲しいから～



2022年5月号



## 《茶話会》



桜若葉がみずみずしい季節となりました。いかがお過ごしでしょうか？

ミオ・ファミリアの皆様はじめまして。2022年1月から担当しております管理栄養士の富永峰大(とみなが たかひろ)と申します。1月に入職し不慣れな部分も多いですが、毎日安全な食事をお届けできるように日々働いています。〇〇が美味しかったと言って頂ける事が励みになります。どうぞよろしくお願ひします。



### 《フルーツティーで茶話会》

茶話会で紅茶にレモンを入れたいとリクエストを受けて、楽しんでいただくためには何ができるだろうと考えました。With コロナが続きご入居者の楽しみも減っているのではないかと思い、4月の茶話会では、私の特技を生かしてフルーツの飾り切りをしました。〈アップル・スワン〉〈オレンジバスケット〉〈ジグザグ〉〈結びレモン〉〈ひねりレモン・オレンジ〉〈ダブルハート〉の6種類です。

白鳥は幸運を象徴する縁起のいい鳥で、アップル・スワンにはあなたの願いが叶いますようにという意味があり、祝いの席でよく作られます。ゆっくりと水面を揺らしながら泳ぐ白鳥をイメージして作りしました。



近年、高齢化に伴い大腿骨骨折する高齢者が増加し、ある調査では2042年には32万件まで達すると予想されています。

大腿骨骨折は骨折後に筋力が衰えて寝たきりとなり、床ずれや肺炎などの合併症を引き起こす可能性があるため、入院中から早期にリハビリが開始されます。

ところが、退院されて在宅に戻ってもリハビリを継続する環境が整っていなかったり、歩く事への自信を喪失してご自身でリハビリを中断してしまうなど、様々な理由で状態が悪化してしまうケースが少なくありません。

骨折は手術をすれば安心という訳ではなく、その後のリハビリがとても大切です。ミオ・ファミリアでは、継続したリハビリができるよう、辛いリハビリではなく楽しくゆったりとご入居者と向き合うリハビリに取り組んでいます。

## 手話体操

コロナ禍で感染対策を行いながら皆様と共にできるアクティビティはないかと考える中で、「手話体操」を企画しました。「涙そうそう」の曲に合わせて、手で表現しながら唄います。スタッフからの提案にご入居者から「やってみましょう」と前向きなお言葉をいただき練習を開始。初日の練習後、初めてなのに上達が早く、そのでき栄えに自然と一同から拍手がおこりました。この感動は忘れられません。日を追うごとに手の動きが滑らかにになり、表現が豊かに、手の動きに歌詞が見えるようになってきています。

昨今、デュアルタスク。2つの動作を同時に行う事で運動機能、思考機能を司る前頭葉を刺激し、脳を活性化・認知症予防につながると言われております。最近聞く「フレイユ」(年齢を重ねることで心身が老いて衰えた状態)の予防の観点からも「手話体操」は効果が期待できます。「継続は力なり」感染対策を徹底し、楽しみながら無理なく行っていききたいと思っております。



## 季節の飾り作り(藤の花)



4月の末に飾るのを逆算し3月から1か月半かけて藤の花を作成しました。

藤の花の色。画用紙に紫の濃淡を絵の具で塗り・乾かし、花の大きさに合わせて切り、切った画用紙で作った花びらを一輪ずつ毛糸に通して房に整えました。

絵の具を塗る人、切る人、花びらを作る人、毛糸に花びらを通す人、2階・3階のご入居の皆様が各々できる作業で協力して綺麗な藤の花ができあがりました。作業中のご入居者の楽しそうな笑顔、でき上がった時の喜びの笑顔がキラキラ輝いていました。



## 誕生日会



4月生まれの方のお祝いをしました。



## お散歩

グループホームのお庭にお散歩に行きました。綺麗な大きい牡丹の花を愛でました。



4月19日からオンライン面会を再開。久しぶりに、画面越しのご家族のお顔を見てお話しされる嬉しそうなお入居者の姿に、早く以前のように直接面会できるように戻ってほしいと思いました。

## オンライン面会



## 新職員紹介

佐藤 まなみ (介護職)

4月に入職させていただきました佐藤まなみです。前職の有料老人ホームでの勤務経験を活かしつつ、芙蓉ミオ・ファミリアで皆様の穏やかで温かい時間を提供していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

医療法人社団 芙蓉会

芙蓉ミオ・ファミリア町田

〒194-0005 東京都町田市南町田 3-43-1

Tel : 042-788-3310 Fax : 042-788-3312